

平成 24 年 度 事 業 報 告

I. 事業の実施状況

今年度の実施状況は以下の通りです。

1. 会員の会員による運営体制

(1)会議

①平成 24 年度通常総会の開催

日 時 平成 24 年 5 月 30 日 (水) 14 時 30 分～15 時 50 分

場 所 札幌市社会福祉総合センター4 階大会議室

出席者 561 名 (出席者 94 名 委任状 467 名)

議 題

(ア)平成 23 年度の事業報告・決算報告・監査報告

(イ)平成 24 年度の事業計画・収支計画(案)

(ウ)その他

議長に樺澤 強 氏が指名され、各担当理事より議事にに基づき議題の提案があり、平成 23 年度の事業報告、決算報告、監査報告が承認されました。続いて 24 年度の事業計画(案)収支計画(案)について提案通り承認されました。

総会に先立ち、北海道むかわ町穂別の高齢者達が映画づくりを始めて、10 年、最高齢 90 歳 平均年齢 78 歳が取り組んだ笑いと涙のミュージカルを上映しました。脚本を担当した斎藤征義氏から制作にまつわる話を聞き町の過疎化防止がいかに大切かを学びました。

②第28回理事会

日 時 平成24年 5 月12日 (土) 10 時 30 分～11 時 30 分 研修室

議 事

【決議事項】

(ア)平成23年度の事業報告・収支決算について

(イ)平成24年度の事業計画(案)・収支予算(案)について

(ウ)役員の選任(案)について

開会にあたり、協議事項につきましては岩見理事長はじめ常勤理事が説明しました。理事の選任につきましては岩見理事長より追加することの必要があることの説明がありました。

新任の理事は会員の山根勝利氏となりました。

③第29回理事会

日 時 平成24年 5 月30日 (水) 16 時 30 分～17時 00 分

場 所 札幌市社会福祉総合センター4階

【決議事項】

(a)役員の所掌について

(b)常勤役員の決定と業務費の支給について

岩見理事長が提案理由を説明し、審議の結果 全員一致で承認
されました。

④第30回理事会

日 時 平成25年2月23日(土)10時30分～11時30分 研修室

【協議事項】

(ア)さっぽろ孤立死ゼロ推進センターについて

(イ)あんしん住まいサッポロについて

(ウ)サービス付き高齢者向け住宅登録事業について

(エ)サロンの存続・廃止について

(オ)サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修事業について

(カ)高齢者向け住宅の評価制度導入に関する調査研究事業について

(キ)役員の改選について

協議事項につきましては岩見理事長と常勤理事が提案理由について
説明しました。審議の結果 協議事項につきましてはすべて承認され
ました。

⑤運営会議

昨年までは理事長が招集する会議でしたが、今年からは副理事長
が招集する会議となりました。

出席者は副理事長 奥田龍人、理事 八木紀夫 理事 千秋憲博
理事 鐵川幹夫 理事 山根勝利 杉谷憲昭 篠塚正徳の7名となり
ました。

主な議題は月次の会員状況 収支状況 サークル活動報告、各種
事業の進捗状況 新規事業の開拓などについて検討、協議を行いま
した。

⑥スタッフ会議

毎月一回 事務局員全員参加の会議で運営会議の取り決め事項の
報告、事務局主導の各種行事の徹底と連絡事項の周知徹底を図りま
した。

この会議で全事務局員の意見交換も行いました。

毎回15時30分から16時30分に開催しました。

⑦推進会議

毎月 第二木曜日の10時30分～12時00分 各サークル・グループ

の代表及び事務局スタッフが参加して開催されました。

開催場所は札幌エルプラザ 2 階の集会室、又はシーズネットの研修室で開きました。

役員は幹事長1名 副幹事長2名 書記1名の 4 人で構成しており参加サークルの代表が交代で務めております。

今年度の幹事は ゴルフを楽しむ会 男の料理教室 詩吟サークル、ふまねっと運動の 4 サークルの代表に4月から3月の一年間 務めていただきました。

主な検討議題は秋のシーズネット祭り、新春交礼会 高齢者福祉バス旅行などにおける会員交流会、 シーズネットの事業への参加要請などについて協議を行いました。

廃止になったサークルは『手打ち蕎麦を楽しむ会』の1サークルでしたが新規のサークルはドライフラワーを使用する『楽しいお花』、初心者麻雀よりもつと初心者向けの『麻雀入門』の2サークルで、現在は 29 サークルとなりました。

II 会員活動状況

(1)会員交流行事

①シーズネット祭り

日 時 平成 24 年 9 月 14 日(金)9 時 30 分～16 時

参加者 256 名 内会員 211 名 市民 45 名

今年のシーズネット祭りは各サークルの代表が舞台、会場 総務の各班に分担して企画運営を行い、実演発表を行わないサークルはパネル展示で日頃の活動を発表しました。また今年の特徴は会員限定でなく広く市民に開放したことにあります。

推進会議の鶴羽幹事長の開会挨拶、岩見代表のお元氣な挨拶の後に午前中はパネル展示によるシーズネットの事業や活動の報告、サークルの実演、発表、「サロンこのはな」の作品販売、有志による抹茶接待など午後からは空知支部とシーズネット合唱団などの実演、ビンゴゲームなどシーズネットのパワー結集が披露されました。

今年の特徴は世界的に活動しているバイオリニストとピアニストの競演による友情出演があり、祭りに華を添えてくれました。

②高齢者福祉バス

(ア)サークル名 豊友会・旅行クラブ合同主催

5月18日 お花見会と工場見学 戸田記念公園とパールライス工場
参加者 55 名

(イ)サークル名 シーズネット合唱団

6月26日 石山緑地 定山溪 藻岩山観光

参加者 49名

(ウ)サークル名 百聞会

7月19日 白鳥大橋記念館と新日本製鉄工場見学

参加者 31名

(エ)サークル名 歩こう会・旅行クラブ合同主催

10月12日 北湯沢温泉の紅葉とノルディックウォーク

参加者 49名

③新春交礼会

日 時 平成25年1月25日(金)12時30分～14時45分

場 所 KKRホテル札幌

参加者 108名

鶴羽推進会議幹事長の挨拶の後、事務局長が岩見代表からの会員皆さんに向けたメッセージを披露した後、シーズネット活動の更なる前進と岩見代表の病氣快癒を願っての乾杯をして始めました。

テストとして一部友人同士が同じテーブルにということもありましたが今年の特徴は特に推進会議の各サークルのリーダーが同じテーブルに2名付いて会員間の交流を推進しました。

余興としてはアマチュア生バンドK&TOYSの演奏、ビンゴゲームなどもあり最後は参加者全員でのシーズネット讃歌で盛り上がりました。

(2)支部活動

①旭川支部

4月に支部総会を開催し年間の支部活動について検討しました。

併わせて支部企画会議を年間4回開き季節ごとの活動を検討しましたお花見会、お茶会、楓風会、年越しうどんの会など多岐にわたり会員間の交流と親睦を図りました。

7月には講演会として「安心して暮らせる地域づくり」研修会として「シニア世代のボランティア入門」などを開催し、年間述べ160名の参加があり昨年の倍増となりました。

②空知支部

空知支部は5月25日に開設9周年を迎えました。

語る会を6回開催し、俳句、水墨画の趣味を学びました。サークル活動として毎月定期的にふまねっと、合唱 マーじゃん お花の講習など多岐にわたり楽しみ会員間の親睦につとめました。

次年度は開設10周年となりますので記念講演会を開きたいと考えて

おります。

③函館支部

函館支部は開設 9 周年を迎えました。

5 月に支部定期総会を開き毎月第 3 日曜日に月例会、役員会を開き年間の支部活動について協議・検討しました。

支部通信は奇数月に発刊し、25 年 3 月で 56 号になりました。

社会貢献として「赤い羽根街頭募金活動」「UR 団地から地域コミュニティを考える」に参加しております。

全会員を対象とした「マージャン大会」「パークゴルフ大会」などの開催、支部研修講座として「認知症と向き合って」「介護、高齢者福祉制度」などの講座をともに学び、マージャンクラブ、パークゴルフ、カラオケ、囲碁、話食の会など多岐にわたり開催し、会員の交流と親睦を深め意欲的に活動しております。

(3) サークル・グループ活動

今年度末のサークル活動は別紙の参加者集計表の通り、29 サークルとなりました。代表が交代したサークルも多く推進会議も活発な意見が交換されてまいりました。

a) 継続サークルは 27 サークルでした。

b) 新規のサークルは「楽しいお花」「麻雀入門」の 2 サークル

c) 活動停止サークルは「手打ち蕎麦を楽しむ会」「シニアレクリエーション」の 2 サークル

(4) 発表会・講座

① 第 10 回シニアの提言のつどい

日 時 平成 24 年 9 月 10 日(月)

参加者 300 人

場 所 札幌市社会福祉総合センター4 階 大研修室

テーマ 「今、私が一番大切にしたいこと」

主催はNPO法人シーズネットと札幌市社会福祉協議会でしたが、札幌市老人クラブ連合会の共催、札幌市の後援のもとにテーマを取決めました。今年は 52 歳から 89 歳までの方から 15 編の応募があり、その中から 5 人の方に発表して貰いました。

発表題目は「健康は足で稼ぐ」「命を守り合うこと」「三角山は私のサロン」

「人間は一人では歩けない」「古希に見た私の正夢」の 5 編で

それぞれ熱く語り合いました。その後のシンポジウムでは岩見代表が司会を務め、人は「人とのつながり、社会とのつながり」がなければ生きて行けないという思いについて意見交換しました。

②知恵袋講座

今年は第 76 回より 86 回まで年間 10 回開催しました。

講師は奥田副理事長はじめ、シーズネットの会員、社会福祉協議会の担当者、生涯教育インストラクター、行政書士など多岐にわたり、介護保険 自筆証書遺言の書き方、地域包括ケアシステム 金銭管理 健康寿命 タブレット教室、相続・遺言書講座等 高齢者の身近に起こる諸問題の解決策などに関心が集まりました。参加者は述べ10回 255人でした。

III. 事務局主体活動

(1)岩見代表自著『地域家族の時代』出版記念講演会・祝賀会 講演会

日 時 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 15:00～17:30

祝賀会 同上 18:00～19:30

場 所 札幌サンプラザホテル

岩見代表の 6 冊目の自著出版を記念して記念講演会と祝賀会が開催されました。

講演会は市民・会員 320 名が参加し、岩見代表のかつての同僚の「ライフステージかりがね」の小林施設長と「CLC全国コミュニティライフサポートセンター」の池田理事長の講演と岩見代表と川本俊憲氏・佐藤珠美氏との鼎談が行われ「孤立しないシニアライフへの発想の転換」への理解を深めました。出席者は 320 名となりました。続いて、同じホテルにて祝賀会が開かれました。

渡辺正行札幌市副市長など各界の皆様からの温かい祝辞、祝電がありまして、153 名の方が出席され、岩見代表の自著出版をお祝いいたしました。今回出版された『地域家族の時代』は講演のDVD付きで講演会と祝賀会の出席者に配布されました。

(2)花壇ボランティア

シーズネット 10 周年を記念してスタートした札幌市大通公園花壇ボランティア活動も 3 年目を迎えました。

参加者も年々増加し今年は45名となりました。次年度も継続となる見込みですが事務局では参加者名簿に基づき、損害保険と契約しています。季節の花々の植え付け個所は大通公園西 3～4 丁目のボーダー花壇 2 面で参加者を 5 班に分けて、4 月より 9 月までの毎週木曜日 10 時～11 時までの間に花苗植え、花柄とり 雑草取り 水やりなどの作業を行いました。花壇ボランティアに市民、観光客の反応もよく、報道機関の取材

もありました。

(3)新入会員オリエンテーション

今年も毎四半期ごとに(4.21 7.21 10.20 1.19)に開催し、シーズネット活動への参加を呼び掛けてきました。

シーズネットについて事務局の役割、サークル活動、シーズネット通信などの読み方などについて説明致しました。

シーズネットの定款、リーフレット、都度の通信などを配布致しました。

会員数も年度末で 942 名となり、述べ 173 名の方の入会がありました。

(4)広報活動

①シーズネット通信の発行

岩見代表の巻頭言に始まり、各事業の開催案内 サークル・グループの活動状況 支部の動向 道外シーズネット姉妹店の動向を網羅しております。

掲載記事は毎月 10 日までに広報へのメールか文書にて提出願い、8 名の担当者により作成・校正・印刷を 20 日頃までに行っております。

発送は 23 日頃会員のボランティア活動により、封筒詰めを行い月末までに会員の手元に届くよう努力しております。

発行部数は毎月 1,200 部 会員あての他 事業開催時の配布 町内会イオン、行政の出先機関への配布と多岐にわたっております。

②ホームページの作成

2004 年 6 月 14 日の開設以来のアクセス数は 163,875 人となっております。シーズネットの日々の活動を一般市民へのPRと啓蒙のため、各種の情報を発信しております。シーズネットの歴史 活動の現況 主催事業・委託事業のPR等サークル・グループのリーダーから提供を受けた最新の記事、などを掲載しております。

IV. 事業への取り組み

(1)生活支援事業

①ほっとあんしん事業

【事業概況】 福祉除雪

【事業収入】 福祉除雪による収入

【事業支出】 作業支援費

札幌市西区と北区地区 対象者 14軒 支援者 3 名

(2)地域交流サロン事業

【事業概況】

地域の住民を対象とした地域サロンとして札幌市内で 2 ケ所開設しています。

【事業収入】 サロン利用料

【事業支出】 家賃 活動交通費 通信費 印刷費等

①サロン「このはな」

昨年2月に独立行政法人UR都市機構 北海道住宅管理センターと協働で団地居住者及び地域住民とのコミュニティを形成するという協定書を締結して団地内集会所を利用し4月から活動して、1年が経過しました。当初は活動予定表の「サロンこのはな月間予定表」を新木の花団地と隣接する市営団地へ個別投函し集客を図りましたが、7月からは各棟の掲示板に掲載しています。

開設日は毎週月曜日より金曜日まで10時から16時まで 支援者6名となり平成24年4月から平成25年3月までの利用者は1,739名で前年比125%伸びております。

地域コミュニティの場と位置付けていますが団地の住民がどれだけ利用しているかを見ますと全利用者の14%にとどまり、これをいかに改善したらよいか検討中です。

支援者6名で毎日の活動は「絵手紙」「パッチワーク」「小物づくり」「茶話会」など利用者からは概ね好評です。

②サロン麻布

平成19年4月に地下鉄南北線麻布駅の近くのラ・カンパネラという高齢者共同住宅の1階を借用し、サロンを開設してきました。

シーズネットとしては従来のサロン活動のほかに入居者と安心・安全サポート契約を締結しておりましたが夜間の緊急時の対応が出来ず契約を解除し、以後はサロン活動に専念して「石に絵を書く」「絵手紙」などの活動を進めてまいりましたが、支援者の高齢化と利用者がシーズネットの既存のサークルへの参加が多くなったこともありまして、サロンとしての役割を終えました。

このため、関係者協議の結果 平成25年1月末で閉鎖致しました。

(3) さっぽろ孤立死ゼロ推進センター

①孤立死防止・地域連携ネットワークモデル事業

【事業概況】

この事業は平成22年から平成24年までの3年間、民間の協力業者 新聞販売店、配食業者、郵便局が日常の業務を行う中で連携し、見守り・安否確認をより効果的に複合的・重層的に取り組むことによって孤立死防止を進めていくもので、基本的に厚別区・豊平区・西区のモデル事業を終えまして今年度で終了し、平成25年度からは①相談窓口②出前講座③シンポジウムなどの啓発事業のみ継続となります。

【事業収入】

札幌市との委託契約

【事業支出】

シンポジウム・講演会の開催費用、チラシ作成費用、広報活動、出前講座開催費用、孤立死防止・地域連携ネットワークモデル事業の札幌(愛)あい(目)ネット事業報告書作成費 その他活動費。

報告書は 1,000 部作成 啓発チラシは 3,000 部作成しました。

【事業内容】

(ア)「マンションでの孤立を考える」

日 時 7 月 19 日(木)13:30～15:30

場 所 かでる 2.7 参加者 80 名

基調講演 「マンションでの孤立をどう防ぐ」

—高齢者の孤立化を予防するために—

コーディネーターの岩見代表とパネリストに市内のマンション管理組合理事長 4 名と予防策と問題点をディスカッションしました。講演会後アンケートを回収しましたが大変好評でした。

(イ)「地域の我が家」サロン開催

日 時 8 月 31 日(金)13:30～16:30

場 所 社会福祉総合センター

シーズネットは札幌市社会福祉協議会と共催して参加しました。札幌市内のサロン 12 団体が参加しました。

シーズネットは「サロンこのはな」が参加し、日頃の成果の各種手芸品を販売し市民に好評でした。

(ウ)「続・マンションでの孤立を考える」

日 時 11 月 14 日(木) 13:30～15:30

場 所 かでる 2.7

参加者 123 名

基調講演 ～孤立死防止に向けての議論を深める～

コーディネーターの岩見代表とマンション管理組合の関係者と孤立死防止の相談事例、管理組合の具体的取組事例などの発表があり前回同様活発な意見交換がありました。

(エ)「孤立死を考える」

日 時 2 月 4 日(月)13:30～15:30

場 所 札幌市教育文化会館 参加者 271 名

主催は札幌市 共催はNPO法人シーズネット

後援は社団法人北海道マンション管理組合連合会

基調講演「孤立死を考える～家族構成の変容と地域の取組からの
検証～」

淑徳大学総合福祉学部准教授 結城 康博氏

パネルディスカッションには

「民間業者と連携した地域における見守りネットワークづくりについて」
コーディネーターに 結城 康博氏とパネリストに厚別区第一地域包括
支援センターの 早坂 みどり氏と手稲鉄北地区福祉のまち推進センタ
ーの 柴田 圭子氏の三人の方が孤立死を防止するために何が必要か
を熱く語りました。

(オ)民間業者と地域包括支援センターとの連携の仕組みづくり

②もみじ台管理センター有効活用事業

【事業概況】

この事業は市営もみじ台団地の指定管理者が日興美装工業株式会社と
なり、管理業務を円滑に運営するために地域福祉や地域まちづくりの経
験豊富なNPO法人シーズネットに提携依頼があり、契約致しました。
提携期間は平成 24 年から平成 27 年までの 4 年間となります。

【事業収入】

もみじ台団地管理料

【事業支出】

受付業務 図書館業務担当として 2 名雇用

【事業内容】

受付業務 図書館業務の他に高齢者の見守り、支え合い活動を行いま
した。

・ふれあい映画&おしゃべりサロン

日 時 11 月 28 日(水)映画上映 作品名「ローマの休日」

1 月 14 日(月)映画上映 作品名「カサブランカ」

・もみじんふれあい祭り 2013 春(3 世代交流)

日 時 3 月 24 日(日)もみじ台管理センター 10:00～16:30

参加者 約 1,500 名。

大ホールでの開会式の後、娯楽室で「高齢者ケア・障害者作業 体験」
和室で「紙芝居ひろば」、ロビーでの縁日コーナーなど全館各種の学習・遊
び・教室などを開催し、最寄りの団地、地域住民の参加で盛況でした。

③公的住宅に係る地域福祉推進の支援

札幌市住宅公社、UR都市再生機構、北海道住宅管理公社の 3 者が目
指す「地域とともに支え合う福祉コミュニティづくりと孤立させない地域
づくり」を支援しました。

【事業収入】

企画 協力費

【事業支出】

会場費 チラシ作成料 など

【事業内容】

(ア)「団地サミット」 シンポジウム ～地域のつながり合い ささえ愛～
地域はひとりひとりの生活のステージ。いつまでも安心して暮らし続けるためには、地域ぐるみで支え合う仕組みの再構築を目的にシンポジウムを開催し、主催は上記 3 公社でしたが、シーズネットが企画運営を委託されました。シーズネットとしては初めての試みでしたが報道機関にも取り上げられ来年も継続開催を要請されております。

日 時 平成 25 年 2 月 27 日(水) 14:00～16:30

場 所 札幌エルプラザ 3 階大ホール

参加者 235 名(アンケート回収 182 名) チラシ配布 4,000 枚

基調講演

第 1 部

北海道医療大学看護福祉学部 准教授 長谷川 聡 氏

「孤立させないコミュニティとは」

第 2 部

事例 1 「ゴーヤとうたごえによるコミュニティづくり」

事例 2 「独居高齢者の孤立を防ぐために」

事例 3 「黄色いエプロン運動」

UR都市再生機構 道営住宅 札幌市営住宅の入居者が集り

自宅に引きこもりがちな独居高齢者との交流の取組について披露しました。

(イ)UR都市再生機構との「あんしん交流サポート」

期 間 平成 24 年 5 月 17 日(木)より 11 月 1 日(木)まで 11 回

場 所 UR都市再生機構の札幌の重点団地 5ヶ所

参加者 入居者対象

内 容 仲間づくりカフェの実施 孤立しないためのサロンづくり

うたごえよりみち(アコーディオン演奏)

シーズネット会員によるハーモニカ演奏など

(4)あんしん住まいサッポロ事業

【事業概況】

平成23 年の 4 月に中央区北 1 条西 2 丁目オーク札幌ビル 1 階に拠点を移してから 2 年が経過しました。

今年度も電話や来所される相談者の皆様から希望される条件をお聞きし適切な住まいを選ぶアドバイスをする活動を進めてきました。2011年度版「シニア住まい情報サツポロ」は増刷も含めて3,000冊を完売し、昨年10月発行した「臨時号」の500冊も完売しました。現在は2013年版の発刊作業に専念しております。札幌市はもとより北海道庁の関心も高く、シーズネットとの情報交換が求められるようになってきました。平成24年度のa)相談者の内訳は相談者本人56.2% 親族43.8% b)年代は70歳代37.8%、80歳代42%となっております。c)相談件数は電話相談520件、来所相談740件 合計1,260件と前年比125%と伸びまして、年々社会的に認知されてきております。

【事業収入】

札幌市の「サポートほっと基金」の受託 住宅情報誌の販売益
広告料 寄付金 各種研修会の参加料 等

【事業支出】

家賃・電気・水道代は住宅管理公社負担
相談員12名の活動費・交通費・通信費・雑費等
相談場所は札幌市住宅課の提供によります。

【事業内容】

①第1回市民セミナー

日 時 平成24年8月17日(金)13:30～16:30

場 所 札幌エルプラザ3階大ホール

テーマ あなたの「身」を守るために 住みかえの契約は大丈夫？

第一部「消費者トラブルに備えよう」～消費カアツプ

講師:札幌市消費者センター 啓発指導員 島谷 裕子 氏

第二部「身近な契約を巡る問題点」

講師:神田法律事務所 弁護士 神田 孝夫 氏

②第1回バスツアー

日 時 平成24年10月22日(月)

内 容 高齢者住宅に関する基礎知識の研修と3施設の見学

参加者 20名 施設事業者の受入れ体制により人数制限がある。

③第2回市民セミナー

日 時 平成24年10月31日(金)13:30～15:30

場 所 札幌市民ホール 2階大会議室

テーマ 高齢者の住まいを考える

「住み続け？住み換え？」の知識を広げませんか

センター長 西原 桂子 氏

参加者 78名

④第3回市民セミナー

日 時 平成 25 年 2 月 27 日 (水) 13:30～16:

場 所 札幌市民ホール 2階 第1会議室

第一部 「要介護認定の申請から種類、利用の仕方」

講 師:主任介護専門員 看護師 吉原 幸子 氏

第二部 「小規模多機能? 複合型サービス? つてなあに」

講 師:勤医協 柏が丘訪問看護ステーション

管理者・看護師 柏原 広美 氏

参加者 84名

⑤第2回バスツアー

日 時 平成 25 年 3 月 19 日 (火)

内 容 高齢者住宅に関する基礎知識の研修と3施設の見学

参加者 20名 施設事業者の受入れ体制により人数制限があります。

(5)サービス付き高齢者向け住宅登録事業

【事業概況】

平成 22 年 4 月より北海道庁から「高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づく指定登録等運營業務」(高齢者円滑入居賃貸住宅登録業 務・あんしん賃貸支援事業登録業務)を受託しました。平成 23 年 10 月に制度が改正され「サービス付き高齢者向け住宅登録事務」となりましたが契約を継続し、平成 24 年度も登録事務を受託しています。

平成 23 年 10 月の制度改正では札幌市、旭川市、函館市の 3 市については大都市の特例として登録事務を行うこととなりました。

札幌市からも登録事務を受託しまして、北海道庁、札幌市の 2 登録業務を受託して担当職員 2 名を雇用しております。

【事業収入】

北海道庁と札幌市の受託事業

【事業支出】

パート 2 名の報酬 消耗品費等

【事業内容】

平成 24 年度登録実績は年間累計で北海道庁 82 軒 2,560 戸

札幌市 105 軒 4,440 戸となり

全国では目標 600,000 戸に対し 109,239 戸となりました。

(6) サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修事業

(国土交通省 平成 24 年度高齢者等居住安定化推進事業)

サービス付き高齢者向け住宅等に配置された相談員に対し、相談援助のレベルアップを図るための養成研修を実施することで適切な相談援助の提供、看取りケア、コミュニテイケアなどができるようになることを目指します。なお本事業は北海道高齢者向け住宅事業者連絡会との共同事業です。

【事業収入】

国土交通省補助(三分の二) 養成研修受講料

【事業支出】

事務局専従者 1 名雇用 事務局事業委託(北海道高齢者向け住宅事業者連絡会)ほか

【事業内容】

- ・事業実施期間は平成 24 年 12 月より平成 26 年 3 月(予定)
- ・検討委員会・検討部会にて、「相談員養成研修のテキスト・カリキュラム」の作成、Eラーニング教材等を準備。
- ・2 月 9 日～3 月 9 日の期間で集合研修 28 時間、Eラーニング 22 時間の養成研修を実施。
- ・3 月 17 日に事業者・市民向けセミナーを開催し、本年度の事業実施状況を報告。
- ・年度末に本年度の事業中間報告書を作成して提出し本年度の事業を終了しました。次年度も継続の予定です。

(7) 高齢者向け住宅の評価制度導入に関する調査研究事業

(厚生労働省 平成 24 年度老人保健事業推進費等補助金)

【事業概況】

サービス付き高齢者向け住宅に付いては整備に公費の投入と税制の優遇もあることから、その運営にあたっては第三者評価などの質の向上とその評価結果の住民への公表による運営の透明性確保が欠かせない。

一方高齢者向け住宅においては法的規制がないため、経営上不透

明な部分が多いのが現状である。いずれの住宅においても利用者の目線を重視し、住宅の質の向上の仕組み作りが急務である。その第一歩として事業者による自己評価の仕組みをつくり、次の段階である第三者による評価を行い、双方の結果を取りまとめて違いを検証します。

【事業収入】

厚生労働省補助 全額

【事業支出】

事務局専従者 1 名 パート 1 名 雇用

【事業内容】

- ・事業実施期間は平成 24 年 9 月から平成 25 年 3 月末日
- ・検討委員会及び検討部会にて、平成 25 年 2 月までに「高齢者向け住宅の自己評価ガイドライン」を作成。
- ・3 月 17 日に事業者・市民向けセミナーを開催し本年度の事業実施状況を報告。
- ・年度末に本年度の事業報告書を作成し提出しまして本年度の事業を終了しました。

なお、本事業で作成した「高齢者向け住宅の自己評価ガイドライン」は北海道内のサービス付き高齢者向け住宅及び札幌市内の高齢者向け住宅に配布を予定しております。

(8)野幌森林再生 団体型森林づくり事業

【事業概況】

平成 22 年度より 3 年間 今年が最終年です。

平成 17 年に台風被害で大量の風倒木の発生した野幌森林再生事業であり、野幌の原生林の登満別の 0.2 ヘクタールにハルニレ・ヤチダモ・キタコブシなどを移植して林野の再生を目指しています。夏の間はクマ笹の刈り取り、つる切りなどを行い秋には森林関係の専門家を招いた講演会とか定山溪の国有林への植樹などを行っています。

次年度は新たに 3 年間の契約を更新すべく関係省庁に申請中です。

【事業収入】「社団法人森と緑の会」助成金を受けております。

【事業支出】

乗合乗用車代 レンタカー代 資材代 講演会費用 等

(9)研修生受け入れ事業

【事業概況】

サンシャイン総合学園からの実習生受け入れ事業

介護職員基礎修了者に対して「NPO法人とは」「シーズネットの活動とは」などを説明し、シーズネットの研修室又はサロン「このはな」で研修しております。

開催回数は 18 回 207 人受け入れ(男性 76 人 女性 131 人)

【事業収入】

研修費

【事業支出】

支援者交通費 雑費 等

V. 地域協働への取り組み

(1) 札幌市介護支援専門員連絡協議会事務局との連携

平成 24 年 4 月に法人化し介護支援専門員の自主組織として情報の共有化、資質向上、ケアマネージャーの交流を目的に発足し 2 年目を迎えました。従来通りシーズネット事務局に在籍しています。

(2) 町内会との協働

鉄西地区町内会と平岸地区町内会に加入し、毎年の新年交礼会に参加しており、鉄西会館には毎月シーズネット通信を配置させていただいております。

(3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

シーズネットはジャスコ札幌苗穂店「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に団体登録し、毎月 11 日のイオンデーに黄色いレシートをNPO法人シーズネットのボックスに投函していただくようお願いしてきました。今年のレシートの 1%の金額は 30,900 円でした。今回もいつものように事務用品を購入できることになりました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

(4) シーズネットのPRについて

シーズネット通信は毎月 1,200 部印刷し、会員の皆様の他に毎月の事業向け講演会、シーズネット祭り、北区社会福祉協議会、西区社会福祉協議会、イオン発寒店、鉄西会館などに配置しております。毎月定期的に配置できるような個所がございましたら是非事務局にお申し出くださいますようお願い申し上げます。

(議案 I・1)

平成 24 年度 事 業 報 告

1. 組 織 状 況

会員の組織状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）			
※会員総数		942 名	前年度 922 名
	団体会員	26 名	〃 27 名
	賛助会員	4 名	〃 4 名
	個人会員	912 名	〃 891 名
※男女別会員数及び平均年齢			
	男 性	292 名	前年度 287 名
	女 性	620 名	〃 604 名
	平均年齢	71.8 歳	〃 71.2 歳
※地域別会員			
	札 幌	791 名	前年度 779 名
	旭 川	22 名	〃 18 名
	北 見	2 名	〃 2 名
	空 知	25 名	〃 25 名
	函 館	54 名	〃 45 名
	釧 路	7 名	〃 7 名
	その他地区	11 名	〃 8 名

2. 役員名簿

役 員	氏 名	住 所
理事長	岩見 太市	個人情報保護のため削除致しました。
副理事長	奥田 龍人	〃
副理事長	堤 紀子	〃
理 事	国本 正雄	〃
理 事 (事務局長)	八木 紀夫	〃
理 事	千秋 憲博	〃
理 事	五十嵐智嘉子	〃
理 事	鐵川 幹夫	〃
理 事	山根 勝利	〃
監 事	猿渡 照夫	〃
監 事	小野 忍	〃

3-1.札幌会員活動状況

(議案 I -2)

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数 (延べ)
<事業>					
サロン「このはな」	地域に開かれたサロン活動	通年	サロン「このはな」	237回	1,739名
サロン「麻生」	地域に開かれたサロン活動	4月～12月	サロン「麻生」	9回	44名
高齢者の孤立を 考える講演会	マンションでの孤立を考える	7月19日	かでの2.7	1回	80名
高齢者の孤立を 考える講演会	続・マンションでの孤立を 考える	11月14日	かでの2.7	1回	127名
高齢者の孤立を 考える講演会	孤立死を考える	2月4日	教育文化会館	1回	271名
地域の我が家 サロンセミナー	第2回目開催 地域に開かれたサロン活動	12月15日	札幌市社会福祉 総合センター	1回	503名
団地サミット	UR・道営・市営団地の入居者 の情報交換	2月27日	札幌エル・プラザ	1回	235名
あんしん住まい サッポロ講演会	あなたの「身」を守るために住替 えの契約は大丈夫?	8月17日	札幌エル・プラザ	1回	180名
あんしん住まい サッポロ講演会	住み続け住替えの知識を 広げませんか	10月31日	札幌市民ホール	1回	78名
<活動>					
平成24年度総会	平成23年度の活動報告及び 平成24年度の事業について 検討した。	5月30日	札幌市社会福祉 総合センター	1回	94名 委任状 467名
新春交礼会	シーズネット13周年に向けての 会員交流会	1月25日	KKRホテル札幌	1回	108名
シニアの提言の集い	第10回「今、私が一番大切に したいこと」	9月10日	札幌市社会福祉 総合センター	1回	300名
シーズネット祭り	サークルの日々の活動の発表と 支部を含めた会員交流	9月14日	札幌エル・プラザ	1回	256名
岩見代表 自著 出版記念講演会と 祝賀会	岩見代表の6冊目の自著出版 書名「地域家族の時代」 DVD付き	9月28日	札幌サンプラザ ホテル	講演会 祝賀会	320名 153名
福祉除雪	高齢者・障害者宅の除雪	冬期間	札幌市西区・北区	14軒	3名
知恵袋講座	身近な話題を専門の講師を 迎えての教養講座	毎月	研修室	10回	255名
新入会員 オリエンテーション	新入会員の方に対する活動 内容や今後の方向について のレクチャー	四半期毎	研修室	4回	54名
教育研修会	サンシャイン学園研修会	毎月	研修室	18回	207名

3-2.旭川支部活動状況

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数 (延べ)
旭川支部総会	支部活動について検討	4月25日	旭川市	1回	9名
支部企画会議	季節ごとの活動を検討 お茶会議	5/9 6/7 7/6 8/1	旭川市	4回	17名
支部事業	お花見会	5月23日	旭川市	1回	10名
支部事業	お茶会	9/5 10/3	旭川市	2回	13名
支部事業	茶話会	12/3 2/6	旭川市	2回	15名
支部事業	新年茶話会(平田社会福祉士)	1月25日	旭川市	1回	14名
支部事業	茶話会	3月6日	旭川市	1回	10名
支部事業	観楓会	11月7日	比布町	1回	8名
支部事業	年越しうどんの会	12月19日	旭川市	1回	14名
支部研修会	太極拳初心者入門講座	6月25日	旭川市	1回	10名
支部研修会	講演会「安心して暮らせる地域づくり」	7月8日	旭川市	1回	6名
支部研修会	シニア世代のボランティア入門	7月8日	旭川市	1回	10名
支部研修会	講演会「人間関係が10倍よくなる 秘訣」	10月4日	旭川市	1回	4名
支部研修会	旭川市出前講座(旭川市保険 福祉課)	2月20日	旭川市	1回	13名
支部研修会	(大人の学校)「自分らしい葬送」	3月20日	旭川市	1回	7名

3-3.空知支部活動状況

No.1

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数 (延べ)
空知支部総会	支部開設9年目	5月25日	サロン「からたち」	1回	21名
第3回語る会	俳句へのいざない	5月18日	サロン「からたち」	1回	8名
第4回語る会	水墨画の公開授業	6月19日	サロン「からたち」	1回	5名
第6回語る会	記者の目線で	7月18日	サロン「からたち」	1回	14名
第7回語る会	戦争体験を語りましょう	8月30日	サロン「からたち」	1回	20名
第8回語る会	介護保険とは	11月21日	サロン「からたち」	1回	20名

3-3.空知支部活動状況

No.2

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数 (延べ)
第9回語る会	生きるのが楽しくなる15の習慣	2月20日	サロン「からたち」	1回	12名
歌声よりみち	歌声喫茶	10/1712/20	サロン「からたち」	1回	28名
クリスマス会	クリスマス会	12月22日	サロン「からたち」	1回	24名
会員交流会	お食事会	毎月1回	サロン「からたち」	11回	108名
会員交流会	新年会	1月25日	サロン「からたち」	1回	15名
サークル活動	ふまねっと(健康体操)	4月～3月	ザワ2階	18回	96名
サークル活動	水墨画	4月～3月	サロン「からたち」	18回	30名
サークル活動	生花	4月～3月	サロン「からたち」	6回	18名
サークル活動	合唱	4月～3月	サロン「からたち」	18回	108名
サークル活動	合唱(年金受給者合唱団)	4月～3月	サロン「からたち」	11回	165名
サークル活動	マーじゃん教室	4月～3月	サロン「からたち」	4回	16名

3-4.函館支部活動状況

No.1

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数 (延べ)
第9回支部 定期総会	H23年度事業報告 H24年度事業計画	5月20日	まちづくりセンター	1回	出席24名 委任17名
シーズネット 通常総会	H23年度事業報告 H24年度事業計画	5月30日	札幌市社会福祉 総合センター	1回	2名
月例会	前月までの活動報告 当月翌月の活動計画	主に毎月 第3日曜日	サロン青柳町	10回	227名
役員会	事業計画の検討	月初め	サロン青柳町	13回	89名
編集委員会	支部通信発行に向けて 編集会議	偶数月 中旬	サロン青柳町	6回	20名
支部通信の 発行	24.5月～25.3月 (51号～56号)	奇数月	会員宅で作成 印刷	6回	全会員へ 配布
「社会貢献」 赤い羽根街頭 募金活動	社会福祉活動	10月7日	棒二アネックス前	1回	15名
UR団地から 地域コミュニテイを 考える	社会福祉協議会とシーズネット 共催	7月12日	川原町団地 集会所	1回	6名
新幹線車両 基地見学会	新幹線事業内容の实地見学	9月11日	北斗市	1回	20名

3-4. 函館支部活動状況

No.2

事業名	事業内容	実施	実施場所	実施	参加者数
財団 フェスティバル	フリーマーケットに参加	8月26日	市民会館前	1回	14名
マージャン大会	全会員対象の交流マージャン大会	5月27日 10月28日	サロン青柳町	2回	66名
パークゴルフ交	全会員対象のパーク&ジギス	10月2日	陣川旧コース	1回	14名
カラオケ愛好会 忘年会	全会員対象の忘年会	12月18日	中道まねきねこ	1回	23名
平成25年 新年会	新しい年を迎えての会員親睦	1月20日	ロワジュールホテル	1回	32名
鏡開き	新年を迎えてお汁粉を食べる	1月11日	サロン青柳町	1回	30名
支部研修講座	「認知症と向き合って」	4月22日	サロン青柳町	1回	21名
支部研修講座	「北海道の電力事情と家庭での省エネ」	8月26日	サロン青柳町	1回	20名
支部研修講座	「介護、高齢者福祉制度について」	10月21日	サロン青柳町	1回	21名
支部研修講座	「中心市街地活性化基本計画の動向」	2月17日	サロン青柳町	1回	23名
サークル活動	マージャンクラブ	毎週金曜日 金曜以外	サロン青柳町 サロン青柳町	53回 60回	述べ1596名 述べ803名
サークル活動	パークゴルフ	5月～10月	主に市内、近郊	11回	述べ120名
サークル活動	カラオケ愛好会	毎月1回	中道まねきねこ	12回	述べ121名
サークル活動	話食の会(ランチ)	毎月1回	市内レストラン	10回	述べ154名
サークル活動	囲碁初心者の会	毎月1回	サロン青柳町	5回	述べ20名

4. サークル・グループ活動集計表

No	サークル名	合 計			
		23年度		24年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	19	355	18	321
2	囲碁を楽しむ会	22	67	44	242
3	映画を観る会	12	174	12	152
4	絵手紙を楽しむ会	11	46	11	69
5	男の料理教室	10	104	12	164
6	歌謡サークル	12	346	12	353
7	ゴルフを楽しむ会	7	37	7	53
8	酒と語り場ポレール&糧とく			10	171
9	札幌のつどい	7	78	4	43
10	山遊会	29	336	33	326
11	シーズネット合唱団	24	970	24	1139
12	シーズネットひよっこ踊り	20	164	15	118
13	詩吟サークル	28	70	33	149
14	自然と健康を考える会	24	404	24	493
15	実用ふでの会	24	191	33	264
16	初心者麻雀を楽しむ会	47	1,127	54	1,593
17	楽しいお花			4	30
18	たべものクラブ	12	248	12	308
19	短歌勉強会	12	53	12	56
20	ハーモニカ・オカリナ教室	23	354	22	361
21	ハッピーダンス	31	77	2	4
22	百聞会	11	213	10	220
23	夫婦のつどい	6	70	6	67
24	ふまねっと運動	23	110	24	175
25	豊友会	13	271	12	230
26	マージャンクラブ	42	1,376	46	1692
27	麻雀入門			16	232
28	旅行クラブ	6	138	5	82
29	朗読を楽しむ会	15	131	23	172
30	ほっと安心	10	78	11	83
31	土曜のおしゃべり	5	39	10	88
32	シーズネットギャラリー			1	6
33	サークル合同	1	20	5	194
34	農と食を考え楽しむ会	13	101		
35	ゆったりストレッチ	34	265		
36	シニアレクリエーション	10	154	1	16
37	酒と語り場「千両」	6	77		
38					
39					
40	他	1	12		
	合 計	570	8,256	568	9,666